



北海道方面

御崎東室蘭間國道改良

室蘭御崎間の國道改良工事費七萬五千圓中勞力費は約三萬六千圓であつて使役人員は約三萬人、其の内譯は石工二千人、馬車千五百人、大工五十人、左官五十人、土工二萬人、女工六千四百人の豫定で賃金は一般土工一日八十錢迄、熟練工一日一圓、特種工は一圓以上二圓迄を支給し得る事となつて居る、室蘭市役所の市道舗裝工事も愈々完了に近づき各種事業も停頓せんとする折柄此の工事は失業労働者にとり慈雨の如

く喜ばれて居る。

沼田多度志間工事

雨龍郡沼田本坂より多度志水橋間準地方費道は凶作救濟事業として、曩に玉砂利を敷きしが過大なりしたため落付かず、通行容易ならざる爲め、多度志方面より沼田に出づるには中越中道路を廻りて安達に至りボソ阪を経て沼田に達する事となり、加之ボソ阪下の低處は盛土せし儘搗き固めを爲さざる所として、耕馬の脚を折る等交通上の困難は實に名狀すべからざる有様なるため、沿道町村民は期せずして義勇勞役し大努力の結果遂に自轉車も馬車も通行し得るに至

東 北 方 面

天王寺渡に架橋工事

つたが砂利敷または盛土せし時はローラーの必要なる事を痛感し將來の計をも考慮するに至つた由である。

久しきに亙りて懸案となつて居た宮城縣桃生郡鹿又村北上川天王寺渡船場に橋梁を架設して地方交通の便を開拓せむと鹿又村二俣の日野長三郎氏によつて數十年來の不便は除かれんとするに至つた、地方一帯では同渡船場に架橋を希望すること明治時代からの長い宿題であつたが、北上川の治水事業未完成のため、一朝洪水に際會すれば橋梁流失の恐れあるため遂に今日まで實現を見るに至らなかつたのであるが、北上川治水事業も完成し、且つ最も不安視されて居た同渡船場の水深も河床上市りて漸次淺瀬となり橋柱建設も案外容易な目論見も付いたので、同地方では此際を期して多年の待

望成就と非常な喜び方である、同橋の延長は九十間總工費は二萬八千圓で現在渡舟の位置より約三十間上流である。

氣仙沼、白石兩町鋪裝

氣仙沼町では今回失業者を救済する意味を加へ兼ねて町勢の發展を企圖するため道路の鋪裝をすることとなつた、石巻の立町でも亦道路鋪裝費一萬三千八百圓餘の受益者例三分の一負擔問題に就ては既に決定し工事も氣候地質等の關係から簡易な鋪裝では安物買ひ一文惜しみの大損を招く譯だと言ふ説多く本格的に鋪裝するに決した。

會津若松の土木事業

不況對策失業者救済の目的下に第一、道路の改良。第二、暗梁の改造。第三、側壁改築の三事業を直ちに起工することに決し其の經費三萬圓中三分一は之を補助に仰いで急場を凌ぎ、次で幹線道路の鋪裝等に就ては追て計畫を建て改めて市會協議會を招

集の段取りとなつて居る。

信越方面

小千谷の旭橋開通す

國道十號線、越後大平原の關門、信濃川に横架された旭橋の開通式は八月六日の吉辰を卜して同橋上で盛大に舉行された、同橋は工費五萬九千五百三十四圓で昭和六年二月二十六日起工され、昭和七年七月三十日竣工した、鐵筋コンクリート井筒を沈下し上部は高さ二十六尺長三十尺幅六尺の鐵筋混凝土二組を設置し最深川床より約十五尺の深度に於て岩盤に達し上部樁は曲弦ワレン樁桁橋で徑間三十間、有効幅員三間で、橋床は鐵筋コンクリート仕立アスファルト鋪裝とし使用人員延一萬六千人、セメント二〇〇〇樽、鐵筋一三二五〇〇〇趾、鐵鋼一八一〇一二二二趾が其の重要材料である、雪の國、米の國、橋の國として昔から、其の名を稱されて居る新潟縣には四千

の橋があつて其の大部分は腐朽頽廢して居る、旭橋も亦橋體が腐朽して殆んど交通不能に陥つたので急ぎ架橋を行つたのである、顧みれば明治十九年迄は渡舟で僅かに交通して居つたのであるが、西脇家と久保田家が共力出發して明治二十年十一月二十日に最初の橋が出来て地方民から大歡迎を受けたものである、明治二十九年七月大水で七十間餘りも流失して縣に移管され、同三十九年七月には百八十四間餘の立派な木橋に架換られたが年々の洪水毎に損傷を受け、昭和五年八月二日の洪水では十六尺八寸の増水で橋體は三尺下曲りとなりて上下の灣局四尺を算する状態となり遂に今同の如く構造の堅牢と外觀の美を俱へた近世式橋梁に架替られたのである。道路改良會長からは祝電を寄せて其の利用と維持とに希望を陳べられ式は嚴肅裡に終了し次で祝賀會に移り旭橋開通の萬歳を三唱して拍手裡に散會した。

岩船に誇る岩澤橋開通

八月四日午後一時、千葉新潟縣知事、川上土木課長、益田中村兩縣會議員以下地方有力者多數參列し榮えある開通式は舉行された、越後岩船館腰村下新保より高根村に通ずる縣道高根村上線の三面川に今度架けられた岩澤橋は岩船郡中第一を誇る鏝筋コンクリートの新名橋である。橋長七十二間有効幅員三間、丁桁橋徑間六間十二連昭和六年九月二十三日起工昭和七年七月三十一日竣工、南蒲小柳組の請負によるものもて橋面にはアスファルトを鋪裝し郡内に斷然其の頭角を拔んで居る、殊に此の岩船、高根、下川郷等の地方は、農産物、薪炭、木材等の産出量豊富にして且つ將來尙開拓すべき富源を藏して居るので岩澤橋の開通を見たことは該地方に一大福祉を期待される次第である、開通式は壯嚴裡に舉行されたが古式による通り初めの老齡者は高根村の板垣源次郎（嘉永四年五月二十九日生れ

妻やす子は萬延元年十月五日生れて、三々九度の結婚式を挙げたのは明治六年十二月二十日といふから金婚式にプレミアム付きの誠に目出度き老夫婦である。

十三萬圓で遊覽路計畫

長野市では信仰都市としてまた大遊覽都市として、東洋のウイナを建設すべく、大峰山を中心とする森林公園をも含む大規模の計畫を樹立し、失業救済として長野縣に配當される土木事業費に割込み工費十三萬圓を以て遊覽都市化の第一歩として納骨堂から往生寺に至る延長二キロ、幅員二十一間の遊覽道路を構設することに決し、目下都市計畫の手許で具體的設計を急いで居るが、體量二十八貫といふ圖體の主、丸山市長は汗を拭き、高野助役を同伴して市役所から、縣廳に是亦布袋腹の兒玉土木課長を歴訪して其の實現を懇請し市協議會でも多年の懸案を此の際解決せんと力辯を入れて居る。

關東方面

模範的可動橋計畫

京濱間一號國道の交通は、甚だしく頻繁に頻繁其の度を超へ、危險状態となつたので神奈川縣では此の交通緩和の必要を感じ種々攻究の結果海岸側に新たに道路一線を敷設する計畫を樹て、羽田飛行場側とも連絡せしめんとするので、東京府と神奈川縣を隔つる多摩川に更に一大架橋の實現を急務とし神奈川縣の丸山都市計畫課長は内務省に眞田東京土木所長を訪問し實施設計作成の調査測量等につき打合せを行つたが、大體に於て横濱都市計畫幹線一號路線と東京都市計畫二十三號路線を連絡する多摩川新橋を可動橋とし船舶の航行を自由ならしめんとするもので前記羽田飛行場近くより川崎大師河原間を選ぶ豫定で神奈川縣の都市計畫では大車輪で準備を進めて居る。

東海方面

濱名橋の開通式

静岡縣の濱名橋開通式は八月二十二日午前十時三十分の花火を合圖に中濱名の東端で舉行された、この日は午前三時頃より非常な大雨で係員等は朝來東西に駆け廻はり地元民も亦大に氣遣つたのであるが、式の始まる頃から日の光りを仰ぎ、晴れやかな氣分が満ち渡つた、定刻前既に田中知事は安東内務部長と同車にて來着し、また内務大代理として武井内務省道路課長は木村土木課長の案内で來場、次で内務省横濱土木出張所の木津技師、中村濱松市長、津倉市會議長、新居、舞坂、兩町長以下協賛會員二百餘名着席するや、型の如く祭事ば執行され、木村土木課長の工事報告、田中知事の式辭、内務大臣、道路改良會長の祝辭

縣會義長、鈴木舞坂、渡邊新居兩町長茲に協賛會長の挨拶あり次で木村土木課長先陣となり三夫婦、知事以下順次通り初めを行つたが新居、舞坂兩町では數日前より『祝開通』の提灯其他準備怠りなく、式後辨天島の新天地では祝賀會を催し舞妓の手古踊を切札とし諸種の餘興あるは花火に角力に兩町は更生への門出に限り知れぬ喜びに浸つたが、最初此の架橋地點等につき草鞋脚絆で調査立案に盡力された牧彦七博士の一行及び當時の知事であつた現宮内次官關谷貞三郎氏、土木課長たりし藤宮惟一、川上國三郎氏等の列席を得て此の記念すべき喜びを共にし得なかつた事は何となく淋しみを感じざるを得なかつた。

東三河觀光コース計畫

東海の名稱蒲郡海岸の國際觀光ホテルは愈々實現する運びになつたので蒲郡、三谷前芝浦、片瀬等の各保勝會及豊川閣、西蒲海岸を始め豊川鐵道、田口鐵、鳳鐵、愛電

瀨電、豊橋三谷兩バス、旅館、料亭等を一丸とする東三河保勝會聯盟を組成し觀光遊覽の内外人を東三河の各勝地に誘致すると共に、東三河觀光コースを選び地方振興を圖ることとなつた、聯盟は右コースの道路改修につき種々計畫を急いで居る。

近畿方面

大雲橋の開通式

京都府加佐郡有路上村二千の農家が待望すること三年、大田良の清流に架けられた南北兩有路をつなぐ大雲橋は一昨年來福知山土木工營所の監督下に府費四萬三千圓餘をもつて架橋工事中であつたが、愈々竣工したので去る二十四日午前十時から同村主催となり、全村舉つて開通式を盛大に催した、同橋は長さ四〇米、幅四米五、鐵筋コンクリート造で郡内隨一のモダン橋と稱され開通式當日の如きは同地方空前の賑ひが深更まで續けられた。

中國方面

油木の入谷橋開通式

縣道廣島油木線―神石郡油木町地内の入谷橋架替は今春以來鋭意工事中であつたが案外に進捗早く竣工を見たので八月九日午前十一時から盛大な開通式を舉行した、架換た入谷橋は幅員六メートル、橋長三十三メートルの鐵筋コンクリートの見事なものである。

福山の道路網成案

地方振興と失業救済の一助とする爲め多年の希望であつた道路網を整備せしめんとし寄々協議中のところ寄附金及び土地の無償提供者續出の有様に道路の改良新設等案外速かに進捗すべく頗る樂觀されるに至つた、併かし經濟界の實狀は尙樂觀するを得ざる節も尠くないので福山市當局は一段の努力を要するものと稱されて居るが新設及

び改築計畫路線は

一、福山市船町新橋より笠岡町、今町、大里町を経て胡町土橋に至る路線（國道二號線並に縣道庄原福山線）此改築延長四百五十間、現在幅員二間乃至三間を四間に擴張一、福山省線驛前より東堀端町、米屋町、鍛冶屋町を経て今町縣道に至り、更に東町寺町に至る路線、此改築延長三百五十間、幅員現在一間半乃至三間を八間に擴張一、大黒町、胡町境から東町櫻馬場町を経て三吉町東小學校に至る路線、市道新設改築延長二百二十四間、幅員五間
右のうち胡町より東小學校前に至る路線は大正十年師範學校が新設された當時から計畫されて居たもので七十四間は既に竣工して居る。

九州方面

添田大藪線道路改修

福岡縣田川郡添田町の失業救済事業とし

て添田安眞木線及び添田大藪線兩道路改修に關し設計中であるが、昨年中重要府縣道添田香春線並に停車場道路等の必要なるものを率先改築し、次でまた小學校々舎を美麗に増築した費用莫大にして、更にまた右二路線を改修するには過重の負擔であるため町長は縣に補助を申請したが大體認められる模様である。

阿蘇登山道路竣功

豫ねてより改修中であつた阿蘇登山道路は見事に改築成り八月五日から二十五人乗りの大型乗合自動車登山客を滿載して上り下して居る、シボレー六氣筒の空色で車體長二十一尺、車體幅六尺六寸、ローマンスカー式二人掛の椅子が五脚宛兩側に並んで居る上に展望を便ならしむるため窓を特に大きくしてあるから眺望よく、殊に鶯の如き聲でバスガールが沿道とする説明は乗客の旅情に清新の爽氣を味はしめ登山道路の効果を増大ならしめて居る。